

2学期 始業式

残暑厳しいため、今回リモートでの始業式としました。

【始業式 校長挨拶】

皆さん、おはようございます。

長い夏休みが明け、今日から2学期が始まります。

皆さんにとって、この夏休みはどのような時間だったでしょうか。

勉強に打ち込んだ人、部活動で汗を流した人、家族や友人との時間を大切にしたり、それぞれに充実した時間を過ごしたと思います。

さて、この夏休みの間にも、私たちが決して忘れてはならない出来事がありました。各地で発生した大きな地震や大雨・豪雨です。日常生活が突然奪われてしまう

災害の恐ろしさを、誰もが改めて痛感したのではないのでしょうか。こうした災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、私たち一人ひとりが「自分の身は自分で守る」という意識を持つことが不可欠です。

今日9月1日は、「防災の日」です。あらためて、

学校にいるときに地震が起きたらどう行動するか。

登下校中に大雨に遭ったら、どこへ避難するか。

家族との連絡方法は確認できているか。

「自分は大丈夫」と思い込まず、普段から災害を自分のこととして捉え、備えておくことが大切です。

防災とは特別なことではありません。日頃から周囲に目を配り、危険を予測することです。皆さんには高校生として、自分の命を守るだけでなく、困っている人に手を差し伸べられる人であってほしいと願っています。

命と安全という土台があってこそ、私たちは安心して学び、成長することができます。

今日から始まる2学期は、皆さんが大きく飛躍できる時期です。

日々の授業や部活動、そして3年生にとっては自らの進路を切り拓く極めて重要な時期を迎えます。

また、2学期には文化祭をはじめとする大きな学校行事があります。こうした行事は、クラスや部活動の仲間と力を合わせて一つのものを作り上げる貴重な機会です。準備や練習の過程では、意見がぶつかったり、上手くいかなかったりすることもあるでしょう。だからこそ、自分の思いを伝えるだけでなく、相手の立場に立ち、互いを尊重し助け合う「思いやりの心」を育ててほしいと思います。

ここで大切なのは、「何をするか」だけでなく、「どのような気持ちで取り組むか」です。



- 苦手な教科から逃げずにコツコツ努力する
- 部活動で工夫を重ねて課題を克服する
- 行事で自分から役割を引き受け、仲間を思いやりながら協力する
- 誰かに指示される前に、自分で考えて行動してみる

こうした小さな挑戦の積み重ねこそが、皆さんを大きく成長させます。

そのためには、最初から完璧を目指す必要はありません。

失敗しても構いません。

大切なのは、失敗したときに立ち止まらず、「次はどうするか」を考え、再び一步を踏み出すことです。

特に3年生の皆さん。これから迎える進路選択や試験は、これまでの努力が試される大きな山場です。不安になることもあるでしょうが、先生方や仲間を信頼し、自分を信じて最後まで走り切ってください。

2 学期という時間は、全員に平等に与えられています。

「これまでの自分」にとらわれる必要はありません。

「これからの自分」に期待し、今日から新たな一步を踏み出してください。

皆さんの成長と活躍を心から期待し、始業式の挨拶とします。

【生徒指導部長の話】

「な れ る」



「環境になれる」「文化になれる」自分の置かれているところに「なれ」ができると、新しいものにはなかなか、変えれないものです。

みんなも学校になれたことで、日常が当たり前になってはいませんか？

学期始めが、目標の見直しにはいい機会です。

しっかり目標をもって新学期スタートしてください。

授業に集中する。

携帯電話の使い方、むやみに写真を撮って SNS にあげない。

自転車の乗り方、スピードをだしすぎない、交通ルールを守る。

「マナー」についていい文化、いい環境をみんなで創ってほしいと願っています。

最後に、新しいことに挑戦することになれ、目標達成にもなれて2学期も頑張ってください

【表彰状の伝達】



多くのクラブが夏休み中、活躍をしてくれています。
ひきつづき、いろんなところでの活躍を期待し、
応援していきますので、頑張ってください！！

【生徒会長 あいさつ】

双星祭に向けこの夏、生徒会役員で準備を進め、今年のテーマを決めました。

各クラス・クラブでの企画書を期限までに提出をお願いします。

双星祭の成功に向けて、全生徒で準備から頑張りましょう



尼崎双星生徒一人ひとりが、
活躍し飛躍の学期になりますように！！